会　　議　　録

<table>
<tr><td colspan="2">会　議　名</td><td colspan="5">第 68 回　八王子市ごみゼロ社会推進協議会</td></tr>
<tr><td colspan="2">日　　時</td><td>令和　5　年（2023 年）5 月 19 日（金）</td><td>開始</td><td>午後 2 時 00 分</td><td>終了</td><td>午後　3　時 00 分</td></tr>
<tr><td colspan="2">場　　所</td><td colspan="5">戸吹クリーンセンター　3階　大会議室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出席者</td><td>委　　員</td><td colspan="5">石井委員、守屋委員、吉田委員、秋間委員、間嶋委員、
平澤委員、下山委員、押山委員、佐怒賀委員、安瀬委員、
伊藤委員、増渕委員、大貫委員
以上 13 名</td></tr>
<tr><td>事務局等</td><td colspan="5">真辺資源循環部長、木下循環型都市推進専門管理官、岡田ごみ減量対策課長、河内廃棄物対策課長、高野清掃施設整備課長、青木ごみ総合相談センター所長、久保田戸吹清掃事業所長、平井館清掃事業所長、森田戸吹クリーンセンター所長、熊澤館クリーンセンター所長

【ごみ減量対策課】白鳥主査、田代主査、前川主査、小楠主任、清水主任、宮本主事、森田専門員
【清掃施設整備課】枝根課長補佐、稲田課長補佐
【ごみ総合相談センター】河合主査
【戸吹クリーンセンター】黒田課長補佐
【協力会社】衛藤、渡邉、勝見</td></tr>
<tr><td colspan="2">欠　席　者</td><td colspan="5">嶋田委員
以上 1 名</td></tr>
<tr><td colspan="2">議　題　等</td><td colspan="5">1. 議題
　ごみ処理基本計画改定に係る目標項目及び基本方針について
2.その他</td></tr>
<tr><td colspan="2">公開･非公開の別</td><td colspan="5">公開</td></tr>
<tr><td colspan="2">傍　聴　人</td><td colspan="5">なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">配布資料</td><td colspan="5">会議次第
第 68 回ごみゼロ社会推進協議会　席次表
八王子市ごみゼロ社会推進協議会　委員名簿
令和 5 年(2023 年)4 月 1 日付人事異動</td></tr>
</table>

	令和５年度ごみゼロ社会推進協議会日程 ごみ量の少なさ２年ぶりに全国１位に返り咲き！プレスリリース 資料１　ごみ処理基本計画改定に係る目標項目及び基本方針について
	議題 1.　ごみ処理基本計画改定に係る目標項目及び基本方針について 【意見、質疑応答等】 ＜ごみ処理基本計画＞ 委員：計画は令和 12 年度までということか。 市　：計画は10年間なので令和 15 年度までのものである。 委員：食品ロスやプラスチックごみの削減について、排出するのは市民なので、もっとわかりやすく伝えるべき。市民の中にはなんでもかんでもごみをまとめて一緒に出してしまう人もまだいるのではないかと思う。そのためもう少し広報などで啓発活動をしっかりしていただきたい。それが削減につながると感じる。 市　：ご指摘の通り食品ロス対策は、市民・事業者の皆様にご協力いただかないとかなわないものである。少しずつ啓発活動を進めてはいるがまだ市民周知ができていない状況もあるので、今後広報誌やチラシの配布やイベントへの出展などを通じて周知・啓発に取り組みたいと考えている。責任をもって皆さんと協力しながら進めていきたい。周知・啓発の良い方法があれば、ご意見いただきたい。 委員：食品ロスについて、なぜロスが起きるかわかっていない人がいると感じる。賞味期限が少し切れていてもまだ食べられるので、そういった周知・啓発をメーカーも巻き込んでやってもらいたい。チラシなどをいただければ回覧したり各家庭に配ったりの協力はできるので、市民にしっかりとした知識を与えることが必要ではないかと感じる。 市　：賞味期限・消費期限は分かりづらいところもあるので、事業者の方も含め周知の部分から進めていきたい。 早めに対応していきたいと考えている。 委員：小学校の給食の残飯がとても多い。生ごみだけを集め収集してもらっているがなにか資源として活用しているのか。 市　：学校給食の残飯については南大沢にある民間のたい肥化の施設でたい肥化している。できたたい肥は小学校や地域の住民の方に渡し、肥料として活用いただいている。

	委員：家庭の生ごみもそのようにできないのか。 市　：家庭も、たい肥化施設のある一部地域では、令和４年度からモデル事業を実施しており、今年も ６ 月頃から取組みを進める予定。全市に範囲を広げるにはまだ時間が必要である。 委員：容器包装プラスチックやペットボトルの排出方法について徹底されてきていて、近所を見ても非常によくなっていると感じる。以前、学校で上履きや運動靴の回収が行われていたが、その活動はどうなっているか。ぜひ市内全域でおこなっていただきたい。 市　：卒業式シーズンになったら校舎の入り口の脇にボックスを置くなどして集めている。この取組みは全市で行っており、集まったものは海外でリユース等している。 委員：スーパーで、ロール巻タイプポリ袋を大量に持って帰る人を良く見かける。また、個人としてはマイボトルを持っていって少しでもごみを減らすよう取り組んでいる。こういった個人でできる取組みのようなものを市民に知らせるようにしていただきたい。 市　：マイバッグはこれまでも周知・啓発を行ってきたが、ポリ袋の大量消費等含め抑制できるような取組みは進めたい。 委員：ぜひお店と協力してもらいたい。 市　：協力しながら進めていきたいと考えている。マイボトルについても、イベントなどで周知を進めていく。 委員：大学と連携した学生に対しての分別方法の周知について、昨年度検討してきたが、今後とも協力していきたい。また、年度末、学生が捨てたであろう粗大ごみを多く見かけたが、状態の良いものばかりであったのでリユースなどはできないのか。大学で、粗大ごみの捨て方に関するチラシを見かけたがリユースについては掲載されていなかった。 市　：今年度は、大学との連携を具体的にできていないが、今後も協力して大学生への周知・啓発を進めていきたい。また、粗大ごみリユースの仕組みづくりも進めており、今後大学生に特化したやり方も工夫ができれば良いと考える。その際は学生の方に周知方法などぜひお知恵をお借りし、一緒に取組みを進めていきたいと考えている。 委員：重点取組みについて、食品ロスやプラスチック資源循環の推進とあるが今回ならではの新しい取組みはなにかあるのか。なにが新しくなっているか分かりづらいところがある。

	年ごとの新しい取組みがあれば市民も興味を持って取り組めるのではないか。 市 ：市民の取組みやすさからすると名称等工夫が必要であると感じる。 また、食品ロスとだけ聞くと同じ事をしているように感じるかもしれないが、食品ロス削減のためには技術的に行うものと、我々が手で行わなければならないものと色々種類がある。「今年度はこれを重点的に行う」といった記載方法も良いのかもしれない。 製品プラスチックの資源化の取組みも進んではいるが、まだ莫大なお金も必要であり、技術が追い付いていないところがあり実現は難しいのが現状である。 周知については、市民の目を引くような工夫など、できるところから進めていく。 委員：賞味期限・消費期限について、事業者の立場からすると期限切れのものが売られていた場合は事故になるので徹底して管理しなければならない。消費者と事業者は基準が違うので目標を立てる際は、違いを加味して行う必要がある。また、宴会の際、昔は料理を余る程出すことが多かった。最近は少な目でと言ってくれるお客様も増えてはきたが、量が少ないと言ってくるお客様もいるので、これからも考えて提供していかなければならないと感じている。料理を残すことはどうしてよくないのか、30・10 運動等の啓発活動も必要であるが、健康に配慮して適切な量を食べることを合わせて伝えていく、企業は作る量を調整し、市民は買う・食べる量を調整する。そういったことが食品ロス削減につながっていく。目標達成のためにそういった啓発を進めてもらいたい。 市 ：皆さんにお聞きしたいが、食べ残しはごみの中でどれくらいの量を占めていると考えるか。一説によると半分くらいといわれているが。 委員：私のお店では、調理の際に出る生ごみよりも食べ残しの方が多いとは感じる。 委員：食品ロス削減やプラスチックの資源化を進めるには周知活動がなによりも重要で、自治会の回覧板など自治会を使った活動が良いと考える。何か考えているのか。 市 ：若い職員も含め周知方法を検討していく。 委員：ごみ減量のためには、購入量を減らす、ごみがあまり出ない商品を選択するなど、ものを購入する際の意識も重要と

	考える。事業者向けにはなにか協力をお願いしているのか。 市 ：市の清掃指導員が各企業に対し、ごみ・資源物の分別についてや過剰包装をしないでほしいといった呼びかけはおこなっている。今後も分かりやすくご協力していただきやすいような周知方法を検討し取り組んでいく。 委員：八王子は山林が多いのでそれを大事にすれば脱炭素に貢献する要因になるのではと感じるが市としてはどのように考えているのか。 市 ：CO2の回収については、まだ実証実験の段階であるが他市の清掃工場で CO2 の回収技術の取組みはすすめられているので、そういったところもふまえ今後検討していく。 2.その他 館クリーンセンターの運営状況について。 次回のごみゼロ社会推進協議会の日程について 市 ：次回は9月29日 14 時から開催を予定している。開催にあたっては改めてご連絡する。